

## 広島電鉄株式会社の呉市域バス路線及び呉市生活交通の平成27年度収支状況等について（報告）

### ① 広島電鉄株式会社のバス路線

#### 1 現 状

平成27年度における広島電鉄株式会社（以下「広島電鉄」といいます。）バス路線の業務量は、生活バスへの路線の移管やバス路線の再編などの影響により、実車走行キロが、前年度よりも約26万km減少しました。乗車人員についても、約54万人減少しています。

一方、収支状況について前年度と比較すると、バス利用者の減少が著しく、経常収益が約7,170万円減少しましたが、経営の効率化等により経常費用を約7,740万円削減することができましたので、約570万円改善しました。

#### 2 業務量状況

（各年度の3月31日現在の数値）

区 分		平成27年度 (a)	平成26年度 (b)	比 較 (a)-(b)	
在籍車両数（乗合）	両	108	114	△6	
路線数	路線	11	13	△2	
実車走行キロ（乗合）	km	4,168,318.9	4,433,291.9	△264,973.0	
乗車人員	定期外	人	6,503,976	6,724,069	△220,093
	定期	人	3,176,502	3,493,933	△317,431
	合計	人	9,680,478	10,218,002	△537,524
収支状況	経常収益	千円	1,837,851	1,909,600	△71,749
	経常費用	千円	2,120,194	2,197,679	△77,485
	経常収支	千円	△282,343	△288,079	5,736

注1 平成27年度の路線数の減少は、平成27年10月に天応川尻線を吉浦天応線と仁方川尻線に再編（1路線増）したものの、横路交叉点線、白石白岳交叉点循環線及び昭和循環線を生活交通に移管（3路線減）したことによるものです。

#### 3 路線別収支（経営支援補助金）状況等

黒字路線は、「宮原線」、「辰川線」及び「長の木長迫線」の3路線となっており、赤字路線は9路線となっています。

なお、平成27年度においては、給油所の新設等で臨時的な費用が発生したため、経営支援補助金の算出額が予算額を超過しましたが、交付額は予算額（320,000千円）を上限としました。

（単位：人、千円）

区 分	平成27年度							平成26年度							対前年度比較			
	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) (a)-(b)	経常 収支率 (a)÷(b)	経常費用 + 適正利潤 (d)	経営支援 補助金 ③ (d)-(a)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') (a')-(b')	経常 収支率 (a')÷(b')	経常費用 + 適正利潤 (d')	経営支援 補助金 ④ (d')-(a')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	経営支援 補助金 ③-④	
1 宮原線	938,666	144,188	141,265	2,923	102.1%	※黒字のため補助対象外	—	976,456	149,874	137,655	12,219	108.9%	※黒字のため補助対象外	—	△37,790	△9,296	—	
2 阿賀音戸の瀬戸線	767,867	143,138	210,843	△67,705	67.9%	215,060	71,922	803,677	148,539	210,054	△61,515	70.7%	214,255	65,716	△35,810	△6,190	6,206	
3 呉倉橋島線	1,191,299	309,920	358,404	△48,484	86.5%	365,572	55,652	1,228,615	314,175	365,739	△51,564	85.9%	373,054	58,879	△37,316	3,080	△3,227	
4 広長浜線	538,145	93,021	112,037	△19,016	83.0%	114,277	21,256	621,379	106,801	118,148	△11,347	90.4%	120,511	13,710	△83,234	△7,669	7,546	
5 天応川尻線	1,187,273	209,993	250,182	△40,189	83.9%	255,185	45,192	2,394,201	423,777	489,107	△65,330	86.6%	498,889	75,112	—	—	—	
6 吉浦天応線	397,997	67,368	94,340	△26,972	71.4%	96,227	28,859	—	—	—	—	—	—	—	△111,657	△8,652	8,417	
7 仁方川尻線	697,274	126,003	132,824	△6,821	94.9%	135,481	9,478	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8 横路交叉点循環線	—	—	—	—	—	—	—	48,560	4,702	14,869	△10,167	31.6%	15,166	10,464	△48,560	10,167	△10,464	
9 白石白岳交叉点循環線	—	—	—	—	—	—	—	63,880	4,936	14,009	△9,073	35.2%	14,289	9,353	△63,880	9,073	△9,353	
10 郷原黒瀬線	992,760	205,889	245,204	△39,315	84.0%	250,108	44,219	972,641	201,497	238,989	△37,492	84.3%	243,769	42,272	20,119	△1,823	1,947	
11 辰川線	251,248	33,252	28,745	4,507	115.7%	※黒字のため補助対象外	—	252,427	33,254	27,859	5,395	119.4%	※黒字のため補助対象外	—	△1,179	△888	—	
12 長の木長迫線	534,799	69,578	66,300	3,278	104.9%	※黒字のため補助対象外	—	529,558	68,841	64,301	4,540	107.1%	※黒字のため補助対象外	—	5,241	△1,262	—	
13 三条二河宝町線	170,473	23,651	63,022	△39,371	37.5%	64,282	40,631	165,221	23,272	61,127	△37,855	32.1%	62,350	39,078	5,252	△1,516	1,553	
14 焼山熊野苗代線	2,012,677	411,850	417,028	△5,178	98.8%	425,368	13,518	2,027,259	415,390	413,104	2,286	100.6%	※黒字のため補助対象外	—	△14,582	△7,464	—	
15 昭和循環線	—	—	—	—	—	—	—	134,128	14,542	42,718	△28,176	34.0%	43,572	29,030	△134,128	28,176	△29,030	
合計	9,680,478	1,837,851	2,120,194	△282,343	86.7%	—	—	10,218,002	1,909,600	2,197,679	△288,079	86.9%	—	—	△537,524	5,736	—	
黒字路線	3路線	247,018	236,310	10,708	104.5%	—	—	4路線	667,359	642,919	24,440	103.8%	—	—	—	△13,732	—	
赤字路線	9路線	1,590,833	1,883,884	△293,051	84.4%	1,921,560	330,727	9路線	1,242,241	1,554,760	△312,519	79.9%	1,585,855	343,614	—	19,468	△12,887	
経営支援補助金（決算見込額（※予算額を上限とする））							320,000	経営支援補助金（決算額）							343,614	△23,614		

注1 適正利潤・・・経常費用の2%相当額

注2 3呉倉橋島線のうち音戸さざなみ・8横路交叉点循環線・9白石白岳交叉点循環線・15昭和循環線については、平成26年10月1日から生活交通に移管しました。

注3 5天応川尻線・6吉浦天応線・7仁方川尻線の平成27年度数値の合算額と再編前の天応川尻線の平成26年度数値との比較をしています。

#### 4 今後の方向性

市民の移動手段を確保するため、これらのバス路線維持に係る経費に対し引き続き広島電鉄へ補助するとともに、広島電鉄が呉市域において運行するバス車両の更新に際しては、誰もが利用しやすいノンステップバスを導入するための支援を継続することとし、バスの利用促進を図っていきます。

## ② 呉市生活交通

### 1 現状

旧合併町4地区（下蒲刈，川尻，倉橋及び安浦）及び広島電鉄が路線退出した3地区（音戸，広及び昭和）の市内7地区において，市民生活に不可欠な公共交通を確保するため，地元交通事業者等に対し，生活バスの運行を依頼しています。また，吉浦及び警固屋地区においては，地域住民が主体となり，地域の移動ニーズに即した形態で乗合タクシーが運行されています。

しかしながら，人口減少に伴いこれらの生活交通の利用者が一層の減少をするおそれがあり，バス等運行に係る収支状況の悪化が懸念されるため，バスの運行回数や運賃について適宜見直しを行っているところです。平成27年度は，10月に音戸，広及び昭和地区における土曜日及び休日のバスの運行回数を利用実態に合わせて減便し，川尻地区では，ほとんど利用されていなかったうぐいすライン経由の系統を3月下旬に廃止しました。



### 2 路線別収支（運行負担金）状況等

#### 生活バス

（単位：人，千円）

区分	平成27年度							平成26年度							対前年度比較		
	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a) / (b)	人口	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a') / (b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④
1 下蒲刈	1,582	12,499	638	13,245	△12,607	11,400 [0]	※2 12.5%	1,625	12,120	674	13,696	△13,022	11,400 [0]	※2 11.2%	379	415	0 [0]
2 川尻	8,899	13,165	1,417	13,393	△11,976	9,600 [157]	※2 13.7%	9,054	14,279	1,550	13,565	△12,015	9,600 [157]	※2 14.5%	△1,114	39	0 [0]
3 倉橋	5,901	50,140	9,939	32,826	△22,887	22,887 [4,817]	30.3%	6,082	49,520	8,621	30,122	△21,501	21,300 [3,328]	28.6%	620	△1,386	1,587 [1,489]
4 安浦	11,367	47,030	6,080	27,538	△21,458	21,458 [3,415]	※2 30.1%	11,586	46,905	6,153	29,862	△23,709	23,600 [3,746]	※2 27.6%	125	2,251	△2,142 [△331]
5 音戸※1	12,453	42,773	7,914	23,446	△15,532	15,120 [1,403]	33.8%	12,645	21,900	3,853	11,162	△7,309	7,309 [0]	34.5%	20,873	△8,223	7,811 [1,403]
6 ※1 横路	46,806	65,892	8,643	25,636	△16,993	16,200 [442]	33.7%	46,622	36,028	4,491	14,619	△10,128	8,970 [0]	30.7%	29,864	△6,865	7,230 [442]
7 ※1 白石白岳		93,188	15,352	29,595	△14,243	12,419 [1,134]	51.9%		45,541	7,228	14,350	△7,122	7,120 [0]	50.4%	47,647	△7,121	5,299 [1,134]
8 ※1 北コース	34,665	89,570	11,497	28,110	△16,613	16,600 [372]	40.9%	34,822	47,215	5,907	14,599	△8,692	8,620 [0]	40.5%	42,355	△7,921	7,980 [372]
9 ※1 中央コース		82,647	9,545	17,925	△8,380	6,770 [1,116]	53.2%		36,116	5,157	9,760	△4,603	4,500 [0]	52.8%	46,531	△3,777	2,270 [1,116]
10 南コース		47,100	9,773	21,932	△12,159	12,159 [980]	44.6%		24,667	4,759	12,427	△7,668	7,400 [0]	38.3%	22,433	△4,491	4,759 [980]
合計	121,673	544,004	80,798	233,646	△152,848	144,613 [13,836]	—	122,436	334,291	48,393	164,162	△115,769	109,819 [7,231]	—	209,713	△37,079	34,794 [6,605]

※1 広島電鉄の退出路線である音戸，広，昭和地区については，平成26年10月以降の実績です。

※2 PASYシステムを未導入の路線については，いきいきバス利用者に適用される優待料金と運賃との差額分が補填されていません。このため，経常収支率を算出する際は，経常収益に優待負担金相当額を加算し計算しています。

#### 乗合タクシー

（単位：人，千円）

区分	平成27年度							平成26年度							対前年度比較		
	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a) / (b)	人口	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a') / (b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④
1 吉浦地区 (あじさい号)	10,729	18,122	2,634	6,039	△3,405	3,000 [633]	43.6%	10,864	19,550	2,948	6,144	△3,196	3,000 [633]	48.0%	△1,428	△209	0 [0]
2 警固屋地区 (おでかけバス)	5,034	2,771	367	2,625	△2,258	1,200 [0]	14.0%	5,165	3,075	358	2,402	△2,044	1,200 [0]	14.9%	△304	△214	0 [0]
合計	15,763	20,893	3,001	8,664	△5,663	4,200 [633]	—	16,029	22,625	3,306	8,546	△5,240	4,200 [633]	—	△1,732	△423	0 [0]

### 3 今後の方向性

これまで生活交通に係る課題を抱える地域においては，地域住民と運行形態等について協議してきました。さらに，平成26年11月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）が改正されたことにより，今後，地域全体を見渡した総合的な交通ネットワークの形成について定めることができるようになった「地域公共交通網形成計画」を，地域住民，バス事業者と協議しながら策定していきます。